

足柄公共交通を三位一体で支える苗床創り

応募様式A

足柄共創プラットフォーム

事業の基礎情報

実施主体	一般社団法人 足柄オンデマンド
事業実施地域	神奈川県足柄上郡 松田町、大井町、開成町
共創の類型	官民共創 ・ 交通事業者間共創 ・ 他分野共創
他分野共創の類型	・福祉 ・子育て ・教育 ・観光
共創パートナー	(一社) 足柄オンデマンド、松田町教育委員会・教育課、福祉課、観光課、 ネクスト・モビリティ(株)、(株)丹沢交通、富士急モビリティ(株)、松田合同自動車(株)、 小田原箱根交通(株)、(株)SDK総合研究所
運行形態	AIオンデマンド交通運行、定額制（パスポート&現金収受）方式導入
運行主体	(株)丹沢交通、富士急モビリティ(株)、松田合同自動車(株)、小田原箱根交通(株)

取組の概要

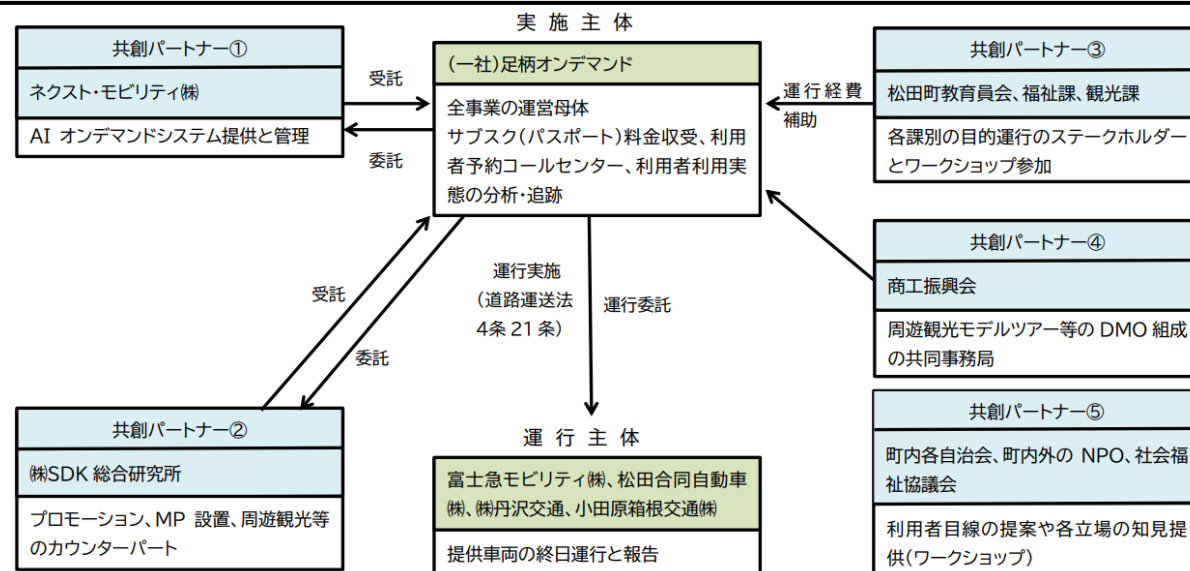
(現状の地域課題と事業目的)

高齢化に伴う交通弱者に対し、新たな地域公共交通の創出のため、AIオンデマンド交通と何回でも利用できるサブスクによる定額制料金体系を提供する。又、保有する4台のうち1台を福祉、教育、観光分野の多目的ニーズに提供する。

(事業の概要)

AIオンデマンドシステムを提供する“ネクスト・モビリティ”と連携する中、サブスク収受体制及び運行運営管理は実施主体の中核である足柄オンデマンドが担う。運行は域内の複数交通事業者に委託すると共に1台の多目的車両については松田町各課、観光協会及び町内外の複数団体と協働で運行実施する。

事業の全体像・共創の仕組み



取組の詳細

(地域の関係者との連携・協働)

実施主体の中核である“足柄オンデマンド”が全体をハンドリングすると共に定額制（パスポート発行と収受の料金設定）確保は直営で行う。プラットフォームの各自構成の役割はAIオンデマンドシステムーネクスト・モビリティ、運行ー複数交通事業者、多目的車両は町、観光協会、外部団体、自治会等とWSを重ね運行実施。

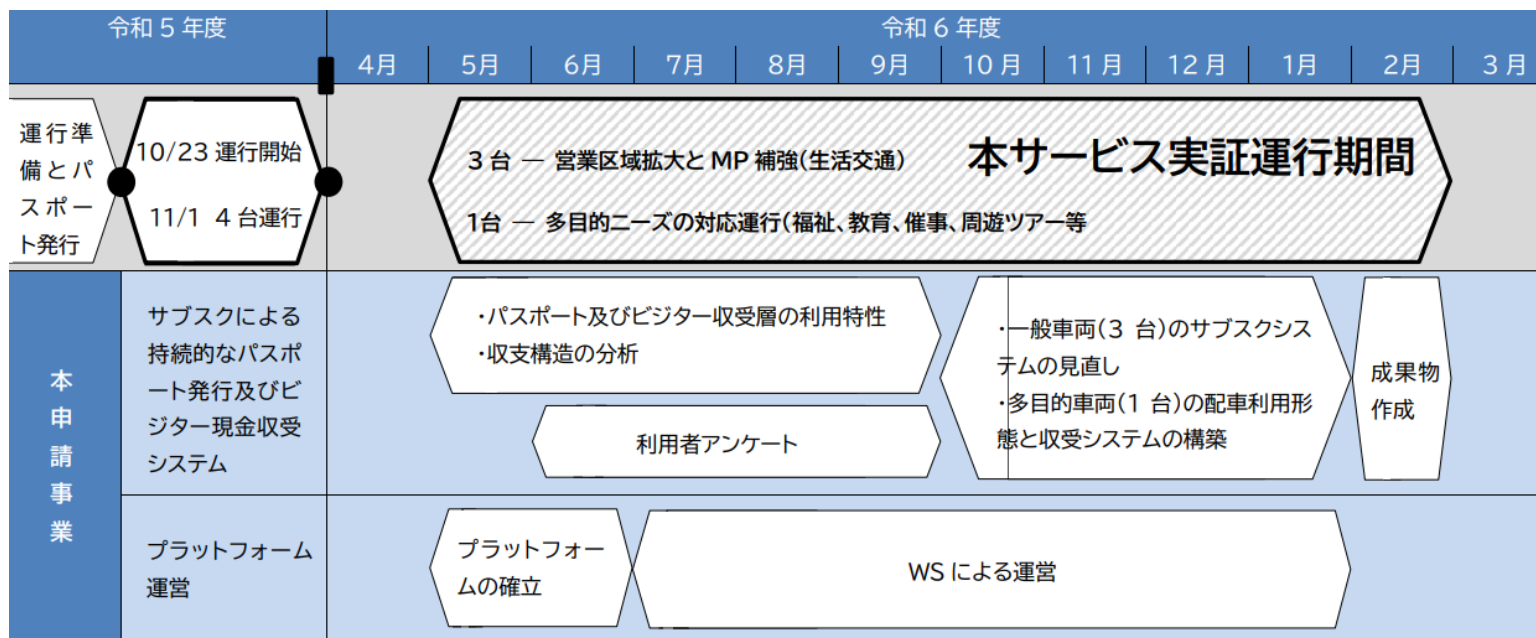
(実証事業により見込まれる効果)

R5.10/23～R6.3/22 4台運行実績として、生活交通利用延べ10,500人、イベント利用（桜まつり1ヶ月）4,300人を得られており年間2.5万人、既応イベント1万人が想定される。

更に令和6年度のサービス圏の拡大（開成町）や新事業への試みにより、年間延べ5万人利用が期待できる。（ちなみに現在アプリ登録者1100人）

取組の詳細

(事業実施手順・スケジュール)



(補助事業実施後の予定)

サブスクによる収受システムの構築は継続的な安定財源を支える肝である。

①1台の多目的利用車両の活用は共創型プラットフォームという苗床を活かし、官民共創、他分野共創型のユーティリティ車両として（一社）足柄オンデマンド運行負担、利用者負担、町各課補助を適正配分し、地域全体が支える継続的なものとする。

②3台の生活交通の各タイプ別パスポート適正価格や需要が高い団体パスポート創設等、サブスクを持続的に維持するものとする。